

◆◆◆ 全国手話研修センター後援会ニュース 2014-vol.1 ◆◆◆

● 2014 年度もよろしくお祈いします。

みなさま、2013 年度後援会の活動支援、本当にありがとうございました。おかげさまで4,701 人の会員を迎えることができました。ただ、私の力不足もあり、一万人目標は達成できず、申し訳なく思っています。

2014 年度は、後援会の存在を知っていただくことにさらに力を入れたいと考えています。まずは後援会の構成団体である全日本ろうあ連盟、全国手話通訳問題研究会、日本手話通訳士協会に協力をお願いをしたいと思います。

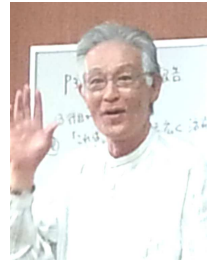
さらに、手話サークルの方々や会員のご家族、ご近所のみなさまにも支援の輪を広げていただければと思っています。まだまだ知名度は 5~10% くらいです。たくさんの方に知っていただければ、一万人はおろか二万人会員も可能です。

後援会ニュース第 1 号をお届けします。ニュースは会員をつなぐ大切なものです。それぞれの団体では、ぜひ機関紙に掲載してください。そして、後援会ホームページでいつでも見られることも、伝えていただければと思います。

今、鳥取県の手話言語条例制定を追い風に、手話言語法の策定が現実のものになりつつあります。手話研修センターの事業拡充はさらに求められ、後援会の役割はますます重要となります。

日本の歴史を作る一員として後援会に結集しましょう。「日本は一つ」です。

社会福祉法人全国手話研修センター後援会会長 清田 廣



● 手話の未来をひらくのはあなたです。

御承知のように、国連の「障害者権利条約」は 2006 年に満場一致で採択され、わが国でも 2014 年の 1 月 20 日に批准されました。障害者権利条約は、障害者差別禁止条項を始め、障害者の権利が健聴者と同等に保障されるような内容となっており、障害を持つ当事者をはじめ関係者みんな喜んでいて、障害者権利条約において「手話は言語」と明記されたことは私だけでなく、聞こえない仲間が手話を否定され、長年苦しんだ歴史を考えると、昔日の感があります。

1930 年代から始まった口話教育推進の妨げになる手話は、手まねと蔑まされ、白い目で見られ、手話を使うろう者の人格までも否定されるようになりました。そのような状況を打開しようと、一般財団法人全日本ろうあ連盟は、1969 年にわが国で初めて手話の標準化を目指した「私たちの手話」を発行し、全国津々浦々で手話サークルの活動を広げ、手話を市民に浸透させ、手話の市民権獲得のため努力してきました。

全国手話研修センターは、全国の聴覚障害者と手話に関わる仲間の力で、2002 年京都嵯峨嵐山にオープンしました。手話の開発、整理、普及、そして人材の育成等など全国手話研修センターの担う役割は、年々重要になってきます。手話がろうあ者だけのものであるならば、言葉としての使用範囲は狭く生活も窮屈になります。手話が言語として真に認知されるためには一人でも多くの方が手話を理解し、コミュニケーションとして広まるのが大切です。

「障害者権利条約」では「手話は言語」であることを宣言する時代を迎えましたが、手話を取り巻く環境は十分ではなく、これからの取り組みにかかっています。この機会に手話を学び広げる役割を、社会福祉法人全国手話研修センターだけに任せるのではなく、みんなの力で手話言語の文化を高める担い手になりましょう！

社会福祉法人全国手話研修センター理事長 黒崎 信幸



● 活動報告

- 6月7日： 2014 年度第 1 回幹事会・運営委員会開催
- 6月14~15日： 第62回全国ろうあ者大会 in 長野で入会受付 97人が入会
- 6月15日： 岡山県聴覚障害者福祉協会総会にて入会受付 15人が入会
- 6月22日： 全通研九州ブロック学習会（福岡県）でPR 10人が入会

● 活動予定

- 9月7日： 第12回京都さがの手話まつりで受付ブースを設置

● 2014年度会員数（6月25日現在）

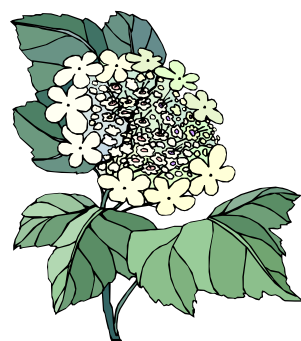
都道府県	合計	ろう	健聴	目標	進捗
北海道	50	19	31	510	9.8%
青森県	3	3	0	140	2.1%
岩手県	0	0	0	100	0.0%
宮城県	17	3	14	160	10.6%
秋田県	16	1	15	70	22.9%
山形県	28	24	4	90	31.1%
福島県	46	19	27	200	23.0%
東北計	110	50	60	760	14.5%
茨城県	1	0	1	130	0.8%
栃木県	0	0	0	160	0.0%
群馬県	44	31	13	200	22.0%
埼玉県	93	32	61	610	15.2%
千葉県	66	12	54	280	23.6%
東京都	73	43	30	750	9.7%
神奈川県	14	7	7	390	3.6%
山梨県	14	6	8	100	14.0%
関東計	305	131	174	2,620	11.6%
新潟県	15	3	12	140	10.7%
長野県	62	2	60	170	36.5%
富山県	24	3	21	120	20.0%
石川県	21	18	3	160	13.1%
福井県	2	1	1	60	3.3%
北信越計	124	27	97	650	19.1%
岐阜県	1	0	1	150	0.7%
静岡県	108	23	85	340	31.8%
愛知県	34	10	24	520	6.5%
三重県	8	6	2	190	4.2%
東海計	151	39	112	1,200	12.6%
滋賀県	56	9	47	170	32.9%
京都府	40	7	33	330	12.1%
大阪府	293	164	129	750	39.1%
兵庫県	61	8	53	430	14.2%
奈良県	115	64	51	140	82.1%
和歌山県	0	0	0	130	0.0%
近畿計	565	252	313	1,950	29.0%
鳥取県	20	2	18	60	33.3%
島根県	15	0	15	70	21.4%
岡山県	75	17	58	190	39.5%
広島県	1	0	1	280	0.4%
山口県	21	2	19	110	19.1%
中国計	132	21	111	710	18.6%
徳島県	0	0	0	40	0.0%
香川県	3	2	1	100	3.0%
愛媛県	5	1	4	120	4.2%
高知県	45	16	29	90	50.0%
四国計	53	19	34	350	15.1%
福岡県	33	13	20	450	7.3%
佐賀県	10	1	9	50	20.0%
長崎県	37	3	34	190	19.5%
熊本県	19	1	18	140	13.6%
大分県	22	1	21	160	13.8%
宮崎県	2	1	1	100	2.0%
鹿児島県	10	0	10	80	12.5%
沖縄県	0	0	0	80	0.0%
九州計	133	20	113	1,250	10.6%
合計	1,623	578	1,045	10,000	16.2%

● 事務局だより

2014年度が始まりました。昨年度は、当会が発足して2年目となりますが、年間通しての活動は1年目です。会員目標の1万人は大きな目標ですが、都道府県目標の100%を達成した奈良県や兵庫県をはじめ、全国各地の様々な経験から、1万人会員実現の可能性が証明された1年となりました。また1年間で、会員証の発行や会員特典なども充実させてきました。

去る6月7日には、当会の2014年度の第一回幹事会、運営委員会が開催され、活動の総括と計画等が協議されました。全国では、集会ごとにブースを設置したり、学習会を開いたり、様々な方法で、研修センターを知ったり、語ったりする活動が広がってきました。

梅本事務局長をはじめ、交代された幹事さん、運営委員の皆さんありがとうございました。また、新年度役員となられた皆さんには、共に新しい歴史を作るために力を合わせていきましょう。



（事務局担当 木下）

<ご連絡先> **社会福祉法人全国手話研修センター後援会**
 住所: 〒616-8372 京都市右京区嵯峨天龍寺広道町3番地の4
 Tel: 075-872-6850 FAX: 075-873-2647
 Email: c.nagasaki@com-sagano.com (担当: 長崎)
<http://www.com-sagano.com/koenkai/index.html>
 お振込先: ゆうちょ銀行振替口座 00900-2-0209681